

## 令和3年度県内大学生等の県内企業就職促進業務 公募型プロポーザル選定委員会審査に係る評価基準

項目	評価の観点	係数	配点
実施体制	業務に即応可能な実施体制（責任者、人員配置、役割分担等）となっており、業務を確実に実施することができるか。	1	6
具体的な 業務内容	（1）県内大学等での業界研究講座 広島県内企業で働く楽しさ・魅力が伝わり、低学年次生が自ら職業観を考え、県内の業界・企業に興味を持つきっかけとするための工夫や講座内容となっているか。	2	12
	知名度の低い参加企業であっても、その企業の魅力を低学年次生の記憶に残すための手法、参加企業へのフォロー及び県内大学との関係構築について、具体的な提案があるか。	1	6
	（2）インターンシップ合同企業説明会（第1回、第2回） 低学年次生を含む学生が県内企業への興味・関心を高めるため、夏季・夏季以降のインターンシップへの参加を促進させる効果的な情報発信手法や企画内容となっているか。	2	12
	事前学習セミナーの内容は、インターンシップに参加したいと思わせるプログラムとなっており、かつ学生にとってわかりやすく、インターンシップの効果を高める内容となっているか。	1	6
	（3）広島県オリジナルパッケージ型インターンシップ 県内企業の関係性や関連業界を系統立てて理解できるテーマや「広島らしさ」を取り入れた実施プログラム案の例を複数、企業名を示して提案しているか。また、企業選定理由の説明があるか。	2	12
	参加学生の学修効果を高めるための工夫及び企業のフォローについて、具体的な提案があるか。	1	6
	（4）インターンシップ成果報告会 報告会に参加した低学年次生がインターンシップに関心を持ち、次年度のインターンシップ参加への意欲向上につなげるための企画内容となっているか。	2	12
	事後学習セミナーは、低学年次生がインターンシップ参加を振り返り、県内企業・業界を就職先として選択しうる意識づけを行うことができるなど、インターンシップの効果を高める内容となっているか。	1	6
	（5）県内高校等での企業の出前講座 講座内容は、仕事の魅力ややりがい、職業観の形成等について筋道立てたものとなっているか。県内の業界や企業への興味喚起ができ、地元への愛着が湧くような内容となっているか。	1	6
	生徒等が大きな学びを得ることができる講座とするための高校等及び企業へのアドバイスについて、講演会型、業界・企業研究型別の具体的な提案があるか。	1	6
参加学生・企業の募集・確保	各業務における参加学生・企業の募集・確保について、大学や企業等との調整を含め、具体的な提案（情報発信手法を含む）がなされているか。	2	12
類似業務実績	同様の類似業務の実績が認められるか。また、事業の関連分野に関する知見や、関係者とのネットワークを有している等の優位性はあるか。	1	6
実現可能性 経費の妥当性	業務を円滑に実施できる、実現性の高い内容となっているか。 経費の内訳は、業務内容に見合った額となっているか。	1	6
加点項目	低学年次生への取組で興味・関心が高まった学生を県内就職まで誘導する本業務の目的に沿い、（1）～（5）の各業務に関連性を持たせる工夫や、学年等に応じた段階的な取組について理解し、具体的・効果的な提案をしているか。	1	6
評価値合計（120点満点）		120	

※採点基準（6段階）

6：特に優れている、5：優れている、4：やや優れている、3：普通、2：やや劣っている、1：劣っている

※選定委員による評価結果の合計が、満点（120点×委員数）の6割（360点）に満たない場合は、選定しない。